

令和5年度シラバス（教科・科目：保健体育・スポーツA・B）

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前部	2単位（半期1単位）	選択

教科書	学習書・他教材
なし	なし

学習目標	
スポーツ・運動の味方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成する。	

学習計画			
学習項目	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法
陸上競技 30h ・競走 ・跳躍 ・投てき	100m、走り幅跳び、砲丸投、円盤投、長距離走の基本的技術を練習し、自己の目標達成を目指します。各種目に記録換算を設定していますが、換算された点数を評価の一部としますので、1秒の短縮、1cmの伸びを大切にしてください。	ABC	各観点項目を基準とし授業全体および実技テストなどから総合的に評価する。
球技 30h ・ゴール ・ネット型 ・ベースボール型 ・ターゲット型	集団対集団や個人対個人の競争を楽しめる種目を行います。基本的な技術の習得はもちろんのこと、チームワークや責任、協力、公正などについての資質を育てられるようにしましょう。 また、必履修体育授業では行わないゴルフやゲートボールなどの単元も取り扱います。	ABC	
その他 10h ・器械運動 ・武道、ダンス ・パラスポーツ	器械運動においては、マット運動や跳び箱運動を、武道に関しては剣道を、パラスポーツに関してはボッチャなど、基本的な技能の習得や基本的動作、礼儀作法、チームワークや責任、協力、公正などについて学びます。	ABC	

計70時間（50分授業）

評価基準と評価方法			
評価は次の観点から行う。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	・運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けようとしている。	・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けようとしている。	・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けようとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、授業全般および実技テスト、振り返りシートなどから総合的に評価する。	以上の観点を踏まえ、授業全般および実技テスト、振り返りシートなどから総合的に評価する。	以上の観点を踏まえ、授業全般および実技テスト、振り返りシートなどから総合的に評価する。

授業の進め方、課題・提出物など
<ul style="list-style-type: none"> ・体育Ⅰを修得した生徒のみ受講できます。 ※体育Ⅰを修得できなかった生徒は、体育ⅠⅡⅢ②・④で2単位修得した後、受講してください。 ・種目に応じて、習熟度別等で行う場合があります。 ・見学者は見学届に授業内容、感想を記入し提出します。 ・体育Ⅰ、体育Ⅱ、体育Ⅲとは違い、運動強度、運動技能の高い内容の授業です。

担当者からの一言

高度な運動技能を身につけることも大切なことです。しかし、スポーツの「楽しさ」は、それだけではありません。設定した目標に向かい、練習計画を立てて実践し、また見直すという一連の流れの中でさまざまなことを学ぶことができます。練習を工夫する喜びや達成感を味わうことができるよう、一生懸命に取り組みましょう。

また、基礎運動技能の練習と競技の実践を行います。運動能力がすべてではありません。大切なことはあきらめず、粘り強く取り組む姿勢と仲間と助け合い協力する態度です。日頃の活動等、各観点項目を基準として学習態度・意欲・出席状況・技術の達成度などを総合的に判断し評価をしていきます。